

## 和光市協働事業【平成25年度実施事業】中間ヒアリング報告書

事業名	吹き矢で介護予防
日 時	平成25年11月27日（水）
場 所	和光市役所402会議室
出席者	事業実施団体 NPO法人ぽけっとステーション 山口・野島 担当課 長寿あんしん課 堀江・石岡 市民活動推進課 渡邊・新坂・大竹

### ●事業概要

事業名	吹き矢で介護予防	
事業主体	事業実施団体 NPO法人ぽけっとステーション	行政（担当課） 長寿あんしん課
事業費	契約額 372,750 円	

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>■目的：介護予防の周知</li> <li>■成果：参加者の口腔機能向上、栄養改善</li> <li>■内容：吹き矢を取り入れた、口腔講座と栄養講座</li> <li>■サポートセンター広沢、向山地域センター、新倉北地域センターで各2回開催             <ul style="list-style-type: none"> <li>□第1回講座：                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔講座「お口の元気 体の元気」 口腔体操、口腔セルフケア等</li> <li>・栄養講座「健康寿命を延ばす食事」 バランスの良い食事のとりかた、減塩について 食材の選び方、簡単調理デモンストレーション</li> <li>・吹き矢 基本動作の指導、5m、7mの距離で実施測定</li> <li>・試食と第1回講座の感想発表、宿題配布</li> </ul> </li> <li>□第2回講座：                 <ul style="list-style-type: none"> <li>・口腔講座 ふりかえり、宿題回収</li> <li>・吹き矢 測定して前回と比較、グループで競い合い</li> <li>・終了証、個人賞の発表、感想発表、宿題の評価返却</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
------	--

## ●事業進捗

### ●事業進捗

	当初	進捗状況
事業 スケジュール	第1四半期：講義内容等の打ち合わせ	4月：事業所内打ち合わせ 5月：長寿あんしん課と打ち合わせ サポートセンター広沢下見 事業所内打ち合わせ 6月：歯科衛生士と打ち合わせ
	第2四半期：講義資料作成、募集・受付	【講義資料作成、募集・受付】 7月：サポートセンター広沢講座募集、広報・包括・自治会等 9月：新倉北地域センター講座募集、広報・包括・自治会等 【事業実施】 7/29（月）：サポートセンター広沢第1回講座 8/19（月）：サポートセンター広沢第2回講座 9/13（金）：新倉北地域センター第1回講座
	第3四半期：事業開始	【講義資料作成、募集・受付】 10月：向山地域センター講座募集、広報・包括・自治会等 【事業実施】 10/17（木）：向山地域センター第1回講座 10/25（金）：新倉北地域センター第2回講座 11/14（木）：向山地域センター第2回講座
	第4四半期：事業評価	
事業変更理由 *事業内容の変更や計画どおりに進められなかった理由をご記入ください。	実施場所を地域密着型特定施設等で行ないたかったが、場所が狭く吹き矢の広さをとれなかったり、日程が合わず、サポート広沢以外は、地域センターを使用することになった。	

その他の意見等

- 【市活】当初の予定よりも早く進んでいる。順調ということか。
- 【団体】順調である。今後、参加者たちを集めたサークル化を進めて行きたい。
- 【市活】地域密着型施設等であまり行なえなかったのはなぜか。
- 【担当課】地域密着型施設は市内に5～6ヶ所あるが、吹き矢をするスペースが取れる施設がほとんど無かった。ゆめあいでも開催したかったが、会議室の予約が取れなかった。
- 【市活】ゆめあいであれば会議室以外に吹き矢が出来るようなスペースもあるので、今後事業で使用する際には、相談してみると良いと思う。
- 【市活】当初、1ヶ所で実施後、検証をし、次の場所で検証を踏まえて実施をするという予定だったと思うが、2ヶ所目の新倉北地域センターと3ヶ所目の向山地域センターは開催時期が重複している。会場予約の都合か。
- 【団体】歯科衛生士の都合等もあり、重複した。
- 【担当課】時間的余裕があったので、2ヶ所目と3ヶ所目の実施時期をもう少し離しても良かったかもしれない。1ヶ所目で振り返ったことは、2ヶ所目、3ヶ所目で活かすことが出来た。

\*担当課への確認

- ①事業スケジュールどおり進捗していますか。  はい  いいえ
- ②事業成果指標の達成に向けて取り組んでいますか。  はい  いいえ

●事業成果指標

		当初	進捗状況
団体	事業成果指標	<ul style="list-style-type: none"> <li>吹き矢の効果で口腔機能向上</li> <li>介護予防の必要性の周知</li> <li>地域密着型特定施設の周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歯科受診はするが、口腔機能向上についての話を聞く機会がなく、真剣に講座を聞き、質問も多く、知識が習得できている。</li> <li>吹き矢が始まると、知らない同志でもすぐに打ち解けて会話がはずみ笑顔がうまれる。介護予防の効果が高まる。</li> <li>地域密着型特定施設の存在は知っているが、何をしている所かわからない人が多かったが、周知することができた。</li> </ul>
	コメント	参加者より自主サークルで吹き矢を続けて行きたい方がいらっしゃるので、サークル立ち上げまで行いたい。	

### その他の意見等

【市活】各開催地での参加者数は。

【団体】サポートセンター広沢 第1回 18名、第2回 15名  
新倉北地域センター 第1回 13名、第2回 7名  
向山地域センター 第1回 5名、第2回 10名

【市活】人数が減少して来ているが、どのような理由が考えられるか。

【団体】場所の影響があると思う。広沢は人が集まりやすい立地であるが、他の2ヶ所は、市内でも端の方のため、近所の人しか集まらなかった。広沢でやるなら行きたい、という人は多くいた。

## ●協働の進捗

### (1) プロセスの積み重ね

	団体	担当課
①事業進捗状況の報告を定期的に行っていますか。	はい	はい
②問題が生じたときに、すぐに話し合っていますか。	はい	はい

### (2) 事業の広がり

協働事業の実施により、新しいつながりや連携が構築されましたか。

団体	【具体的内容】 和光市で、歯科衛生士と事業した事がなかったので、今回構築できた。
担当課	【具体的内容】 地域密着施設を利用したことによって、参加者に施設の周知ができた。また、事業実施団体であった「ほけっとステーション」は地域密着施設を初めて利用したこともあり、ほけっとと施設の新しいつながりになったのではないと思われる。

### その他の意見等

【市活】サポートセンター広沢で事業を開催した後、施設と団体のつながりはできたか。

【団体】まだ事業を開催したりはしていないが、施設と当団体のつながりが出来た。今後、他の企画で使わせて欲しいという話はしている。

### (3) 市民満足度の向上

事業の受益者の満足を得ることができましたか。 団体 担当課  
はい はい

受益者の満足度を調べるためにそれぞれどのようなことをしましたか。

団体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講座終了時にアンケートをとった。</li> <li>サポートセンター広沢 19 名参加。全員がよかったと回答。</li> <li>新倉北地域センター13 名参加。全員がよかったと回答。</li> <li>・吹き矢を買いたい。老人会で行ないたい。1 週間ぐらい続けてほしい等の感想あり。</li> </ul>
担当課	事業に参加した方たち自体は有意義に感じられていたと思う。

#### その他の意見等

【団体】アンケートの他、講座の最後に 1 人ずつに感想を話してもらった。宿題を頑張った参加者の中には、薬を飲む時に詰まらなくなったり、夜快眠出来るようになった人もいた。

【担当課】団体から提出された報告書の他、課の窓口に来た参加者に直接ヒアリングした。

事業の受益者以外の市民全体の満足度の向上を感じられましたか。 団体 担当課  
いいえ いいえ

どのようなことで感じたかを下欄にご記入ください。

団体	市民全体ではありませんが、市民活動見本市に参加し、吹き矢体験を行なったところ、吹き矢が今人気ということで、興味を持って体験された方が多数いた。
担当課	広報で参加者を募集したが、こういった事業に全く初めて参加する人が少なかった。

#### その他の意見等

【市活】「受益者以外」とは、事業に参加していない人のことである。

【担当課】他の介護予防講座に参加したことがある人が多かった。しかし、栄養・口腔部門では初めて、という参加者が多かった。

#### (4) 協働基本原則

「和光市協働指針」では、市民と市が協働を円滑に進めていくための以下の6つの基本原則を定め、これをお互いが理解し、常に協働基本原則に則って取り組んでいくこととしています。これらに則って事業に取り組みましたか。

	団体	担当課
①「相互理解の原則」	はい	はい
②「目的・評価共有の原則」	はい	はい
③「自立の原則」	はい	はい
④「対等の原則」	はい	はい
⑤「役割分担明確化の原則」	はい	はい
⑥「情報公開の原則」	はい	はい

#### ■役割分担について

	当初
団体	講座の受付、問い合わせの対応、講座実施、報告書の作成、自主サークルサポート
担当課	事業実施施設の調整（長寿）、広報わこうによる募集（長寿）、自治会への周知（市活）、事業結果の検討・研究（長寿）

#### ■役割分担の中で良かった点や改善点をご記入ください。

団体	自治会への周知が遅かったため、もう少し早く行なえると良かった。
担当課	当初のとおり

協働事業の実施にあたり、どのようなメディアを活用して事業のPRをしましたか。その代表的事例を左欄に記入し、また、協働事業の実施により、事業の社会的認知度が向上したかどうかを、右の欄にその理由と併せてご記入ください。

団 体	<p>【PR事例】 和光市広報 自治会にチラシ配布 市や団地の掲示板</p>	<p>【社会的認知度の向上】 広報をみてきた人も多いが、自治会の回覧板や老人会で配られたチラシの効果が高かった。</p>
--------	--	--

#### その他の意見

【市活】高齢者には、チラシでの周知が効果的ということが分かった。

情報公開について、どのような手段で情報発信をしましたか。

担 当 課	広報や公共機関へのちらしの配布を行った。
-------------	----------------------

## (5) その他

協働事業を実施する中で、現在苦労している点、これからの懸案事項、印象に残っていること、良かったこと等がありましたら、下欄にご記入ください。

団 体	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業後の吹き矢の自主サークルへの実現について検討中。</li> <li>・苦労したのは、周知と集客。人が集まりやすい会場だとすぐに定員に達するが、中心部から離れると集客が困難になる。</li> </ul>
担 当 課	現在、事業参加者が自主的に介護予防に取り組めるように、ぽけっとステーションが自主グループ化へ支援を行っている。その中で、活動拠点をどうするかということが課題となっていたが、行政として情報提供や環境整備ができればいいのではないかと思う。

#### その他の意見等

【団体】サークル立ち上げのため、コミセン・地域センター、公民館、サポートセンター広沢、ゆめあいの使用方法をそれぞれの担当からヒアリングした。使いやすさや立地を考えると、サポートセンター広沢が一番良いのではないかと考える。サークル参加希望者を一度広沢に集め、立ち上げについて話そうと考えている。

【市活】いつ頃、広沢に集める予定か。

【団体】年度内を考えている。立ち上げを年度内にどの段階まで進めれば良いか。サークル活動の開始は、暖くなる春頃を想定している。

【市活】参加希望者を集め、サポートセンター広沢でサークル活動を行なえる段階まで進めて欲しい。

【担当課】サークル立ち上げのための施設管理者等へのヒアリングで、団体は苦勞をしていた。担当としては、市内施設のことをもう少し把握し、団体のサポートを出来れば良かったと考えている。

【団体】担当の方から、サークル活動に適した場所を提案してもらえれば少し楽だったと思う。

【市活】吹き矢の管理はどのようにするのか。

【団体】当団体で管理し、希望があった場合は貸し出せるようにする。

【団体】生きいきクラブから、吹き矢を行なうことでどのような効果があるのか講義して欲しい、との依頼が来た。団体と地域のつながり形成が出来て来た。

【市活】講座全6回は既に完了している。今後は、サークルの立ち上げと、立ち上げ後は事業完了報告書の作成を行なってもらい、事業完了となる。